



# 大磯小学校 学校だより

令和6年9月13日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



9月というのに、例年より気温の高い日々が続いています。学校でも夏休み前と同様に、WBGT（熱中症指数）を気にしなければならぬ日々が続いています。2学期がスタートしてすぐに台風10号の影響による休校を余儀なくされるなど、これまでの気候とは大幅に変わってきているように思います。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉のとおり、早くこの異常な暑さからは解放されたいものです。

思い思いの時間を過ごした夏休み、その成果物である「〇〇名人」ですが、大変見ごたえのある作品ばかりで驚いています。自分の「好き」や興味を追求できた時間となったのではないのでしょうか。そのためには、保護者の皆様のお力添えも、たくさんあったことと思います。ありがとうございました。



自分の「好き」を追求することについて、始業式では、この夏のオリンピック、スケートボード女子ストリートで金メダルを獲得した、中学3年生の吉沢心さんのお話をしました。自分の好きなことに熱中して取り組んだ結果が、超一流につながった。とことん取り組んでみることで、将来の自分に大きな影響を与えることになる、自分自身の可能性を広げることにつながる…そんなことを子どもたちも感じてくれればと思います。



この夏、2年生の中島紗世子さんが、「国際理解・国際協力のためのポスターコンクール」に出品し、金賞を受賞しました。『世界中に安心を』というタイトルで、安心して生活している子どもと、戦争などのおそろしさにおびえている子どもの様子が対比されています。その二つの境界線が、虹色で表現されているところが素晴らしいと思いました。中島さんにとって、「自分の思いや考えを絵で表現すること」が、「自分の一番」なのかもしれません。



大磯小学校の教育目標、「おだやかに 自ら学び 共に育つ」。「自分の一番」をみつけて心穏やかに生活し、それにとことん取り組む。その結果、お互いに良い刺激を与えあって成長していく、そんな姿がたくさん見られることを願っています。

秋は「実りの秋」。大磯小学校の敷地内につくられた、5年生の田んぼでは、たくさんの立派な稲穂が見られるようになりました。黄金色に色つき、風にそよぐ姿を見るのが楽しみです。2学期は年間をとおして一番授業日数の長い学期です。その中で、様々な行事もあります。それぞれの活動を通じ、仲間と何かを作り上げる楽しさや達成感、協力することの楽しさ、仲間とのつながり等、たくさんの経験を積み上げて、実り多きものとしていってほしいと思います。

